



2021.8.31

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

おかげさまで、皆さまのさわかみファンドは22期の決算を迎えることができました。コロナウイルス新型株の流行や、繰り返される緊急事態宣言の延長など厳しい一年ではありましたが、無事、こうして皆さまに月次報告書をお送りできることを幸せに思います。

運用状況につきましては、下記の通り最高投資責任者の草刈から、そして9月18日に開催予定の『さわかみファンド運用報告会2021』および運用報告書にて詳細をご報告いたします。

この一年で最も辛かったのは、ファンド仲間の皆さまにお会いする機会を奪われたことです。直販の意義でもある「寄り添いながら一緒に運用を進める」が難しくなり、特に現在のような市場環境においてはより密に時間を共有すべきところ、それが叶わなかったのは残念でなりません。もちろん弊社はこの一年を何もせずボケーとしていたわけではなく、内部革新や諸々の戦略再構築など、飛躍への準備期間として過ごしました。

今は、皆さまとの早期再会を待ち望み、またその際には成長した弊社の姿をお見せしたくコロナ収束を願っております。皆さまにおかれましても、どうぞご自愛いただき、共にこの苦難の先にある明るい未来へと進んでまいりましょう。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

皆さまのさわかみファンドは今月、企業の決算発表が堅調であったことから力強いスタートを切りました。ところが中盤に差し掛かると、国内では緊急事態宣言の延長、中国の突然の規制強化、トヨタ自動車の減産報道が重なり4.1%急落しました。その後は徐々に落ち着きを取り戻し月初の水準まで回復。米国市場に目を向けると、同様に下げる場面があったもののその後は最高値を更新。27日のジャクソンホールでの会合もパウエル議長の巧みな市場との対話で上昇。そのような状況の中、買いは大きく下げている成長期待の企業3社、売りは景気敏感な企業を中心に3社の利益確定を進めました。

今月はなんとといっても基準価額が初めて3万円を超えての決算。22期は市場平均をしっかりと上回り、ポートフォリオ強化の成果が出てきました。それらもファンド仲間の皆さまが難局の中を信じて待ってくださったからにほかなりません。心より感謝申し上げます。コロナ変異株の登場、景気減速への懸念、成長率の低下、債務の拡大など世界には難題が山積しています。それでも人は可能性を信じ、自らを信じて未来を切り拓いてきました。航海日誌の新たなページを開き、まだ見ぬあの景色を共に目指しましょう。(8月30日)

ファンド情報

2021年8月30日現在

顧客数(直販分)

117,212名(直近1か月 +120名)

定期定額購入 契約数

35,944名(全体比30.7%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日
(金額変更・中止) 2021年
9月16日(木)

振替日
(引落日) 2021年
10月1日(金)

約定日
(買付日) 2021年
10月11日(月)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります。)

お知らせ

開催予定

「さわかみファンド」 運用報告会 2021 9.18(土)パシフィコ横浜

昨年はオンラインで開催した運用報告会を、今年はパシフィコ横浜で開催します! 例年の運用報告会と同様に、投資先企業にお越しいただき、企業ブースの出展や講演などをしていただきます。さわかみファンドが応援している企業で、どんな方が働き、どういった製品やサービスを通じて世の中をよくしていこうとしているのか、ぜひ直接目で見て感じてみてください! また、お子様向けのイベントとして「ミニ四駆で電気自動車(EV)製造体験」を実施予定です。こちらはクイズラリーに挑戦し、入手したパーツをもとにミニ四駆を組み立てコースで走らせるという、ご家族で楽しめるイベントになっていますので、あわせてお楽しみください!

申込方法

※オンラインでご参加希望の方は、当社 HP よりお申し込みください。

①WEB フォームよりお申込み

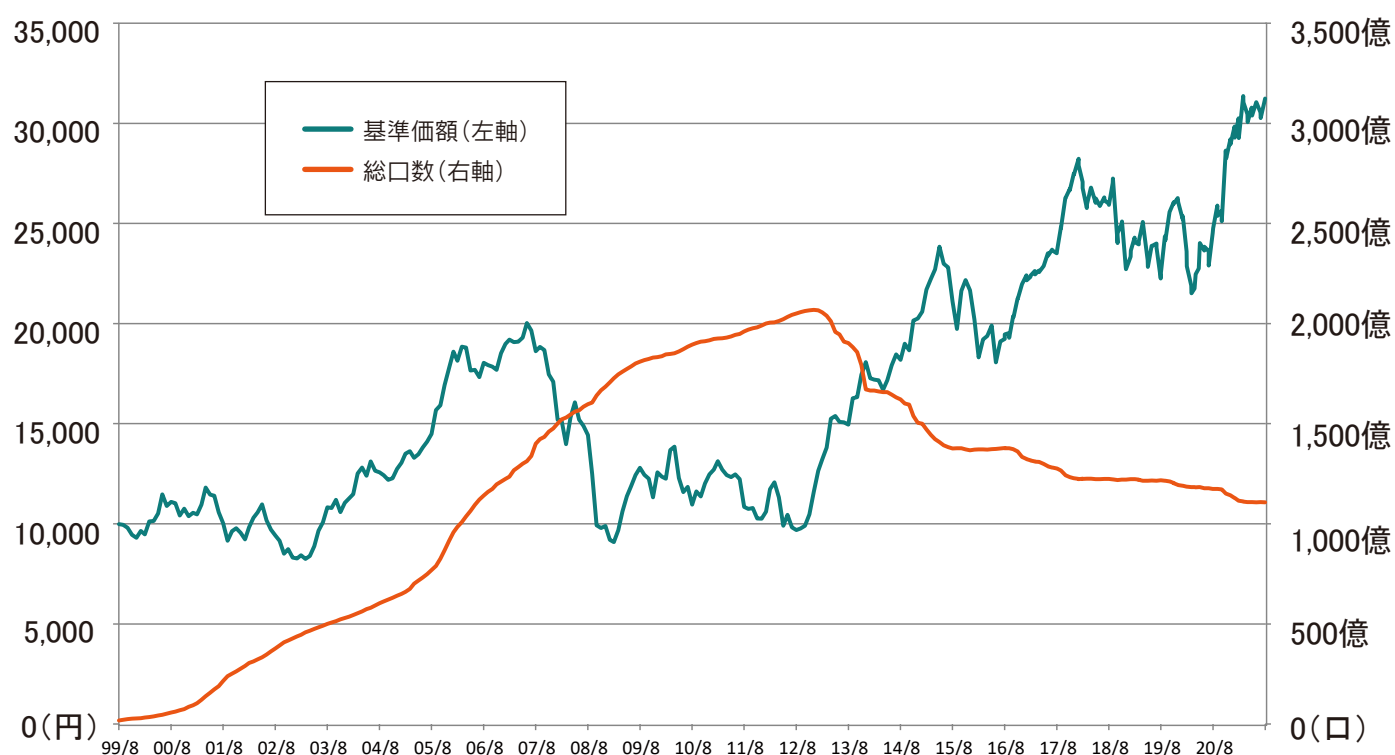
www.sawakami.co.jp/uh2021/



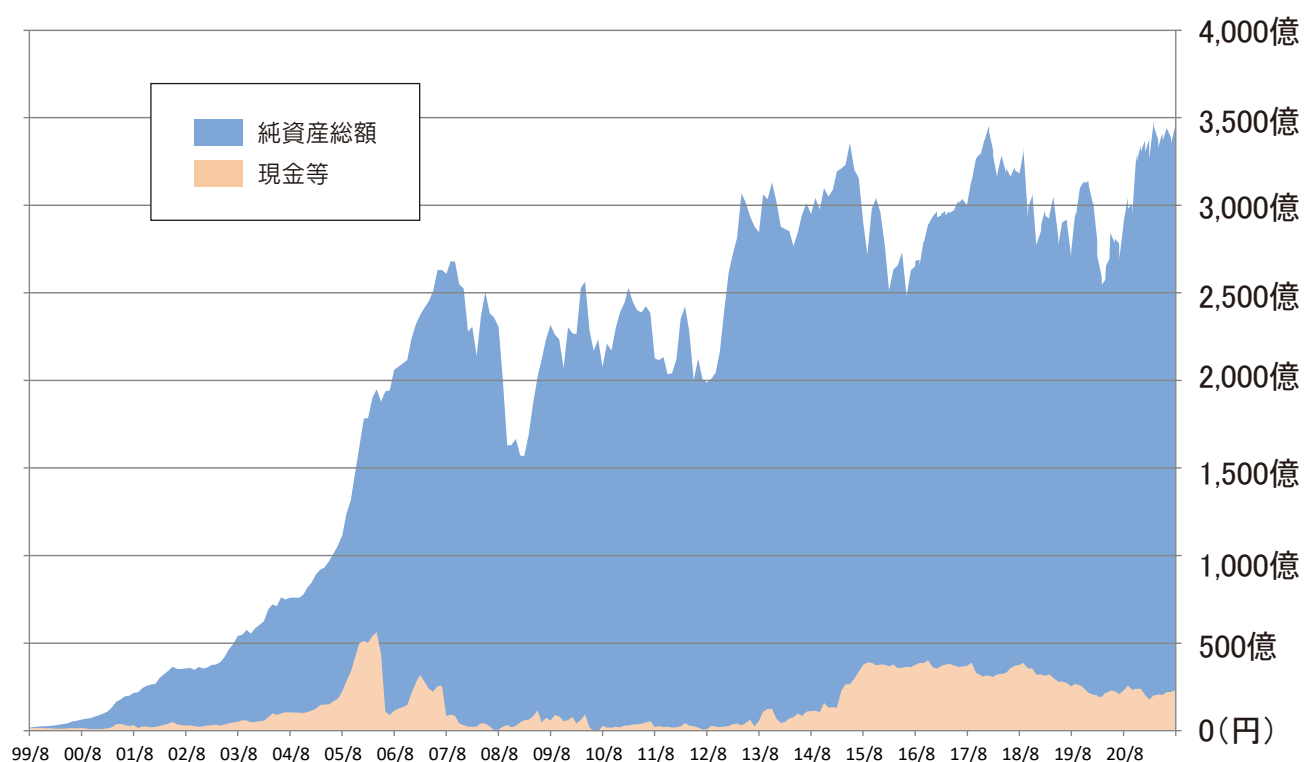
②お電話にてお申込み

ご縁の窓口 **03-6706-4789**
(営業時間 平日8:45~17:30)

基準価額・総口数の推移



純資産総額・現金等の推移



「さわかみファンド」運用状況 2021年8月31日現在

基準価額		31,477円
純資産総額		3,485億19百万円
複利 年率	スポット購入	5.3%
	つみたて購入	6.6%
組入銘柄数		114銘柄

【参考】つみたて実績		
つみたて開始時期	投資額	評価額
5年前	60万円	約76万円
10年前	120万円	約201万円
1999年11月	262万円	約573万円

表記内容に関する補足

・「複利年率」とは、これまで運用した結果、年複利で何%のリターンになっているのかを示した数値です。「スポット購入」は設定時にのみ購入、「つみたて購入」は定期定額購入サービスの開始（1999年11月）以降毎月つみたてた場合の複利年率です。

・「つみたて実績」は、各つみたて開始時期から毎月1万円をつみたてた場合の投資額と評価額を記載しています。

※左記は過去の実績を示したものであり将来の成績を保証するものではなく、受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

(以下、すべて表記未満は切り捨て)

No	組入銘柄	保有株数	取得単価	株価	評価額	評価損益	投資損益	組入比率	持株比率	
		株	円	円	百万円	百万円	百万円	%	%	
1	日本電産	6594	1,720,000	1,523	12,620	21,706	+19,085	+24,935	6.22	0.28
2	ダイキン工業	6367	740,000	2,818	27,405	20,279	+18,193	+23,312	5.81	0.25
3	信越化学工業	4063	782,500	5,556	18,205	14,245	+9,897	+12,404	4.08	0.18
4	ブリヂストン	5108	2,775,000	1,585	5,064	14,052	+9,651	+16,451	4.03	0.38
5	浜松ホトニクス	6965	2,128,700	1,099	6,420	13,666	+11,325	+12,668	3.92	1.28
6	テルモ	4543	2,875,000	997	4,597	13,216	+10,349	+11,802	3.79	0.37
7	ＴＯＴＯ	5332	1,850,000	1,370	5,990	11,081	+8,545	+11,661	3.17	1.04
8	トヨタ自動車	7203	1,074,900	4,167	9,592	10,310	+5,830	+15,799	2.95	0.03
9	花王	4452	1,450,000	2,245	6,646	9,636	+6,380	+11,410	2.76	0.30
10	デンソー	6902	1,100,000	2,942	7,710	8,481	+5,244	+8,268	2.43	0.13
11	三浦工業	6005	1,350,000	774	4,940	6,669	+5,623	+6,859	1.91	1.07
12	ディスコ	6146	196,200	6,069	32,050	6,288	+5,097	+5,971	1.80	0.54
13	セブン&アイ・ホールディングス	3382	1,300,000	2,529	4,815	6,259	+2,970	+4,104	1.79	0.14
14	ＨＯＹＡ	7741	350,000	3,129	17,780	6,223	+5,127	+6,776	1.78	0.09
15	キッコーマン	2801	720,000	1,130	8,260	5,947	+5,133	+6,634	1.70	0.37
16	朝日インテック	7747	1,717,200	1,052	3,330	5,718	+3,911	+3,975	1.64	0.63
17	ＩＮＰＥＸ	1605	7,400,000	1,367	758	5,609	▲4,509	▲2,600	1.60	0.50
18	本田技研工業	7267	1,459,100	3,180	3,342	4,876	+235	+2,079	1.39	0.08
19	旭化成	3407	4,229,400	515	1,136	4,804	+2,624	+4,650	1.37	0.30
20	ＳＭＣ	6273	65,000	13,774	70,510	4,583	+3,687	+4,423	1.31	0.09
21	三井物産	8031	1,850,000	1,176	2,429	4,493	+2,316	+4,153	1.28	0.10
22	住友化学	4005	7,377,600	417	558	4,116	+1,037	+2,381	1.18	0.44
23	安川電機	6506	715,000	544	5,380	3,846	+3,457	+5,015	1.10	0.26
24	日東電工	6988	450,000	5,104	8,360	3,762	+1,464	+2,246	1.07	0.30
25	日本特殊陶業	5334	2,200,000	1,107	1,692	3,722	+1,286	+3,705	1.06	1.07
26	日立製作所	6501	600,000	3,162	6,085	3,651	+1,753	+2,073	1.04	0.06
27	伊藤園	2593	520,000	2,250	6,960	3,619	+2,448	+3,170	1.03	0.58
28	ＤＭＧ森精機	6141	1,775,000	906	1,966	3,489	+1,880	+3,063	1.00	1.40
29	デクセリアルズ	4980	1,500,000	858	2,153	3,229	+1,941	+2,431	0.92	2.33
30	マニー	7730	1,450,000	344	2,177	3,156	+2,656	+3,321	0.90	1.35
31	王子ホールディングス	3861	5,368,900	428	576	3,092	+792	+1,977	0.88	0.52
32	オーエスジー	6136	1,550,000	1,007	1,977	3,064	+1,502	+2,844	0.87	1.57
33	東レ	3402	4,000,000	618	741	2,967	+491	+1,460	0.85	0.24
34	パナソニック	6752	2,200,000	1,307	1,312	2,886	+10	+745	0.82	0.08
35	マキタ	6586	444,000	1,465	6,320	2,806	+2,155	+3,088	0.80	0.15
36	ファナック	6954	115,000	16,534	23,990	2,758	+857	+1,076	0.79	0.05
37	三菱商事	8058	800,000	1,781	3,311	2,648	+1,223	+2,411	0.76	0.05
38	村田製作所	6981	285,000	4,152	9,119	2,598	+1,415	+3,482	0.74	0.04
39	ダイセキ	9793	576,000	1,197	4,455	2,566	+1,876	+2,574	0.73	1.11
40	ヤクルト本社	2267	400,000	2,447	6,340	2,536	+1,557	+2,721	0.72	0.23
41	小松製作所	6301	896,600	1,569	2,662	2,387	+980	+3,190	0.68	0.09
42	ヒロセ電機	6806	126,500	10,361	18,330	2,318	+1,008	+1,715	0.66	0.33
43	富士フイルムホールディングス	4901	250,000	2,295	9,068	2,267	+1,693	+4,395	0.65	0.04
44	三菱電機	6503	1,299,400	611	1,505	1,956	+1,161	+3,931	0.56	0.06
45	日本精工	6471	2,500,000	819	772	1,930	▲118	+1,222	0.55	0.45
46	良品計画	7453	810,000	1,402	2,358	1,909	+773	+797	0.54	0.28
47	スズキ	7269	380,000	1,952	4,756	1,807	+1,065	+2,557	0.51	0.07
48	島津製作所	7701	350,000	2,598	4,935	1,727	+817	+841	0.49	0.11
49	商船三井	9104	200,000	6,117	8,500	1,700	+476	▲633	0.48	0.16
50	三菱重工業	7011	582,100	3,213	2,909	1,693	▲177	+3,672	0.48	0.17
51	キリンホールディングス	2503	825,000	1,029	1,994	1,645	+795	+1,706	0.47	0.09
52	椿本チエイン	6371	475,000	2,393	3,395	1,612	+475	+1,283	0.46	1.24
53	大同特殊鋼	5471	310,000	5,206	5,020	1,556	▲57	+378	0.44	0.71
54	ハンズマン	7636	890,000	307	1,697	1,510	+1,237	+1,493	0.43	6.13
55	トプコン	7732	800,000	1,036	1,868	1,494	+665	+794	0.42	0.73
56	住友電気工業	5802	1,000,000	1,114	1,470	1,470	+356	+1,229	0.42	0.12
57	ＤＯＷＡホールディングス	5714	300,000	2,560	4,830	1,449	+680	+1,076	0.41	0.48
58	ＳＨＩＦＴ	3697	54,800	14,048	25,140	1,377	+607	+607	0.39	0.31
59	メック	4971	400,000	818	3,365	1,346	+1,018	+1,579	0.38	1.99
60	バウハントベッド・ホールディングス	7817	620,000	1,148	2,127	1,318	+606	+943	0.37	1.00
61	日本触媒	4114	226,000	4,939	5,830	1,317	+201	+1,250	0.37	0.55
62	ＥＮＥＯＳホールディングス	5020	3,000,000	516	426	1,278	▲270	+319	0.36	0.09
63	サウゲール・ホールディングス	4887	250,000	4,955	4,975	1,243	+4	+119	0.35	0.57
64	タダノ	6395	1,000,000	956	1,198	1,198	+241	+269	0.34	0.77
65	ＸＩＬＩＮＸ　ＩＮＣ	XLNX	70,000	-	-	1,192	-	-	0.34	0.02
66	SALESFORCE.COM INC	CRM	40,000	-	-	1,164	-	-	0.33	0.00
67	ツムラ	4540	300,000	2,348	3,785	1,135	+430	+774	0.32	0.39

(すべて表記未満は切り捨て)

No	組入銘柄	保有株数	取得単価	株価	評価額	評価損益	投資損益	組入比率	持株比率	
		株	円	円	百万円	百万円	百万円	%	%	
68	ヤマトホールディングス	9064	400,000	1,255	2,800	1,120	+617	+1,930	0.32	0.10
69	T H K	6481	430,000	1,452	2,553	1,097	+473	+1,298	0.31	0.32
70	K O A	6999	670,000	1,004	1,584	1,061	+388	+730	0.30	1.65
71	関西ペイント	4613	350,000	701	2,851	997	+752	+1,396	0.28	0.12
72	ショー・ボ・ント・ホールディングス	1414	200,000	496	4,945	989	+889	+1,846	0.28	0.35
73	東京瓦斯	9531	456,800	2,325	2,116	966	▲95	+319	0.27	0.10
74	ユニ・チャーム	8113	188,700	877	4,904	925	+759	+1,988	0.26	0.03
75	ビジョン	7956	250,000	3,797	3,185	796	▲153	▲125	0.22	0.20
76	サンバイオ	4592	650,000	2,212	1,195	776	▲661	▲604	0.22	1.25
77	COSTCO WHOLESALE CORP	COST	15,000	-	-	751	-	-	0.21	0.00
78	クレハ	4023	100,000	4,142	7,510	751	+336	+817	0.21	0.48
79	高砂香料工業	4914	238,000	2,628	2,893	688	+63	+366	0.19	1.18
80	MARUWA	5344	64,400	6,318	10,640	685	+278	+283	0.19	0.52
81	CYBERDYNE	7779	1,500,000	980	446	669	▲802	▲802	0.19	1.09
82	東海カーボン	5301	450,000	1,159	1,460	657	+135	+304	0.18	0.20
83	フェロテックホールディングス	6890	200,000	809	3,240	648	+486	+1,532	0.18	0.53
84	3M CO	MMM	30,000	-	-	646	-	-	0.18	0.00
85	T D K	6762	53,000	7,409	11,570	613	+220	+234	0.17	0.04
86	ORSTED A/S	ORSTED	35,000	-	-	611	-	-	0.17	0.00
87	オプティム	3694	250,000	3,038	2,232	558	▲201	▲201	0.16	0.45
88	TERADYNE INC	TER	35,626	-	-	482	-	-	0.13	0.02
89	スタンレー電気	6923	150,000	1,398	2,748	412	+202	+1,324	0.11	0.08
90	DANONE	BN	50,000	-	-	401	-	-	0.11	0.00
91	竹内製作所	6432	150,000	1,510	2,654	398	+171	+181	0.11	0.30
92	A I i n s i d e	4488	36,600	35,908	10,790	394	▲919	▲919	0.11	0.93
93	中部飼料	2053	340,000	667	1,125	382	+155	+582	0.10	1.11
94	東京応化工業	4186	54,900	6,919	6,910	379	+0	+0	0.10	0.12
95	DASSAULT SYSTEMES SE	DSY	60,000	-	-	379	-	-	0.10	0.00
96	技研製作所	6289	75,000	3,154	4,735	355	+118	+123	0.10	0.26
97	アンビスホールディングス	7071	44,100	2,458	7,840	345	+237	+237	0.09	0.18
98	カナミックネットワーク	3939	520,000	595	637	331	+21	+23	0.09	1.08
99	BRUNELLO CUCINELLI SPA	BC	50,000	-	-	322	-	-	0.09	0.07
100	澁谷工業	6340	101,800	2,387	3,115	317	+74	+80	0.09	0.36
101	S U B A R U	7270	150,000	2,216	2,036	305	▲27	▲17	0.08	0.01
102	リニカル	2183	348,700	1,253	819	285	▲151	▲137	0.08	1.40
103	西島製作所	6363	290,200	1,138	947	274	▲55	+0	0.07	0.99
104	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	TSM	20,714	-	-	270	-	-	0.07	0.00
105	キャノン	7751	100,000	4,123	2,611	261	▲151	+128	0.07	0.00
106	A N Aホールディングス	9202	100,000	2,514	2,605	260	+9	+1,035	0.07	0.02
107	アネスト岩田	6381	200,000	825	1,020	204	+38	+44	0.05	0.47
108	リックソフト	4429	86,900	3,939	1,965	170	▲171	▲171	0.04	1.98
109	リオン	6823	60,200	2,072	2,631	158	+33	+37	0.04	0.48
110	メタウォーター	9551	79,400	1,423	1,902	151	+37	+45	0.04	0.15
111	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	PLTR	50,000	-	-	141	-	-	0.04	0.00
112	N T N	6472	500,000	426	252	126	▲87	▲446	0.03	0.09
113	日鉄ソリューションズ	2327	15,800	2,782	3,730	58	+14	+15	0.01	0.01
114	ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	7774	9,300	331	690	6	+3	+38	0.00	0.02

国内株式評価額	318,898 百万円	91.50 %
外国株式評価額	6,366 百万円	1.82 %
現金等	23,255 百万円	6.68 %
純資産総額	348,519 百万円	100.00 %

(参考情報)

【外国株の残高概算情報（現地通貨ベース、直近時点）】

No	組入銘柄	国	通貨	保有株数 株	取得単価	株価	評価額 百万	評価損益 百万	投資損益 百万
1	X I L I N X I N C	XLNX	アメリカ	USD	70,000	81.69	155.07	+5.13	+5.21
2	SALESFORCE.COM INC	CRM	アメリカ	USD	40,000	218.80	264.97	+1.84	+1.84
3	COSTCO WHOLESALE CORP	COST	アメリカ	USD	15,000	374.54	455.93	+1.22	+1.39
4	3 M C O	MMM	アメリカ	USD	30,000	130.05	196.17	5.88	+1.98
5	ORSTED A/S	ORSTED	デンマーク	DKK	35,000	944.46	1,001.50	35.05	+1.99
6	TERADYNE INC	TER	アメリカ	USD	35,626	75.04	123.21	4.38	+1.71
7	DANONE	BN	フランス	EUR	50,000	49.92	61.97	3.09	+0.60
8	DASSAULT SYSTEMES SE	DSY	フランス	EUR	60,000	29.86	48.74	2.92	+1.13
9	BRUNELLO CUCINELLI SPA	BC	イタリア	EUR	50,000	26.25	49.80	2.49	+1.17
10	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	TSM	アメリカ	USD	20,714	84.04	118.99	2.46	+0.72
11	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	PLTR	アメリカ	USD	50,000	23.75	25.76	1.28	+0.10

【通貨コード】 USD (米ドル) EUR (ユーロ) DKK (デンマーク・クローネ)

取得単価 保有している株式の、1株当たりの買値(手数料等含む)を表しています。

評価額 組入銘柄ごとの、保有株式の価値を表しています。(株価×保有株数)
外国株については、直近の株価をベースに、本日の評価レートで邦貨換算しています。

評価損益 組入銘柄ごとの、総取得額に対する評価額の損益状況を表しています。((株価－取得単価)×保有株数)

投資損益 評価損益に、当銘柄から過去に受け取った配当金、および一部売却による損益(手数料等含む)を加えたものです。(投資損益は参考数値です。過去に全株を売り切った場合、売り切り以前の投資損益は含まれません。)

意到随筆

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

先日、息子が提出した一学期の学校課題を見た際に思わず笑みがこぼれた。課題は新聞を作ること、新聞名を自分で考えてつけるというものだ。教室内に貼られている他の児童の新聞を見ると概ね二つのパターンに分けられる。小学校の名をそのまま新聞の名前にしてしまうか、自らの名前を堂々と載せるかである。多くの児童が前者を選ぶ傾向があり、息子に話を聞いてみると理由は可愛らしいほど単純で、特に考えることもなく周りがそうだからメンドクサイということらしい。後者を選ぶ児童は内容からも自己の考えがはっきりと打ち出されており、字が上手く恐らく学校生活でもしっかりしているのだろうと勝手に想像してしまった。読みやすいような文字の配列や見出しを装飾する工夫など、いかに見てもらうか、いかに自分の考えを伝えるか自分の頭で考えているのだなと感心させられた。

ところで、私が息子の新聞をほほえましく思ったのは、他の児童とは違い独特のタイトルであったからである。小学校の名前に続けて日経新聞とついていたのだ。普段、我が家で目にするのは日経新聞で、家庭内にある書籍なども経済に偏っているからだろう。それにしてもタイトルに日経と入っている子供は一人だけで思わず笑ってしまった。当然ながら記事には経済のことなど全く触れられていない。そのことも笑みの要因なのだが、知らぬうちに影響を受けているものだなと内心嬉しかった。これから始まる金融教育において、経済というものが文字だけとはいえ身近にあると理解しアレルギーが起きないことは重要だと思っているからだ。

環境と言え我々を取り巻く社会の空気感、世間と呼ばれるものがある。その変化をより強く感じるようになったのがコロナ禍になってからである。直近では緊急事態宣言とオリンピックにおける変化が大きい。緊急事態宣言については、如実に空気の変化がある。ワクチン接種が進んでいることもあるのだろうが、多くの人が宣言そのものに慣れてしまっており、人々の移動制限がほとんど行われていない。首都圏の話ばかりで恐縮だが、公共交通機関は宣言前とほとんど変わらず混雑している。需要の低下で減便している影響もあるだろうが昨年の宣言下では見られなかった光景である。テレワークの推奨、在宅勤務の比率70%以上などの明確な目標があった昨年とは打って

変わり、今年は掛け声だけで今一つ実行に至っていない。

オリンピックに関しては、開催に対してネガティブに考えていた人の多くがポジティブに変化したことが先日の世論調査でも明らかになった。沿道での応援は控えるようにアナウンスされていたが、自転車競技やマラソンといった市街地に出て競う種目については想定以上の人出になっていた。私自身もこの状態でオリンピックをやることに疑問を感じていたが、アスリートの姿に感動しポジティブに変わった一人ではある。もちろん納得がいけない点は多々ある。オリンピックは無観客であったが、プロスポーツでは観客数を制限して開催していることや昨年は中止された夏の甲子園は開催されるなど、国内で対応が分かれていることは正直言って理解できない。これは今後議論されるだろう経済的な負担などにかかわってくる。少しでも観客を入れておけばよかったのではないかという意見が出ると予想しているのだが、それは都内の小学校では、これまで支給されていたノートがオリンピックによってお金がなくなり配布できないと学校から説明されているからである。子供の教育予算を削るほど東京都が既にそれほど財政的に厳しいということであれば、国の負担の発生などが大きな政治的争点の一つになるだろう。

対応にチグハグさを感じるのはこれだけではない。昨年行われたGO TOトラベルは7月後半から開始されていたし、GO TO Eatは9月からである。ちょうど今頃行われていた経済対策が今年は全く行われていないのである。ワクチン接種、診療報酬や医療体制、権限の明確化を早期に対応しておけば、完ぺきではないものの他国の事例を見れば経済活動という点において、今頃は景色が変わっていた可能性すらある。どこかパスのかみ合わない試合を見ているようで、もどかしいと感じるのは私だけではないはずだ。

夏休みの宿題に新たな新聞の課題があり、今回はSDGsがテーマである。17のテーマについて説明すると、なぜ解決できないのかと問われ答えに窮してしまう。子供の質問は本質を突き、現状の矛盾を鋭く指摘する。これまでの流れを無視せず、とはいえ未来志向で過去を引きずるのではなく、全体が一歩前に進まなければならない。皆さまのさわかみファンドもおかげさまで23期を迎え、この時代の変動期に結果を残すことにこだわっていきたいと考えている。

パワーあふれる投信会社 社員コメント集

■ その「ひと手間」がいいね! 【運用調査部／大澤】

毎月最終営業日の夜は“月次レポート”の発送作業を行います。一部機械化されていますが、封入作業前後は人手です。数万通の中に稀に空(から)封筒が紛れてしまうと、お客さまにご迷惑をおかけしてしまいます。先日、付き合いの長い上川と一緒に作業をしていると、封筒の束を次工程へ回す際、1通ずつ中身の有無をチェックしていました。ほんの数秒のひと手間が問題を解決しています。早速、私も上川に倣うことにしました。

■ 手書きっていいな 【情報システム部／江藤】

最近、人と自由に会えなくなったからか、手書きの文字にとってもぬくもりを感じるようになりました。そこで今年は初めて万年筆を購入し、また絵手紙も書き始めました。手書きって心が幸せになりますね。書いていたら、小さい頃、母が遠足や大事な試合のときに弁当に手紙を添えてくれていたことをふと思い出しました。もらった私も嬉しかったけど、書いていた母も幸せだったのかなと思いました。

■ ガンジス麹町店 【直販部／廣瀬】

昔からインドカレーが好きで、週に一度は食べています。これまでも、通っていた学校や会社の近くには必ず行きつけのお店がありました。中でも、このオフィスの近くにある「ガンジス」は歴代ナンバーワン。もう何人に紹介したか分かりません。味と値段はもちろんですが、テイクアウトの受付をしているインド人とおぼしきおじさんが最高なのです。いつでも元気。いつでも笑顔。その人と話すと、自分まで元気になるような気がします。

■ 食品ロス削減に貢献? 【直販部／大野】

独り暮らしで外食が多かったのですが、緊急事態宣言が続く中、近所のスーパーで買い物をする量が増えました。一番増えたのが、閉店近くに半額値札が貼ってある食材。日によって食材が変わります。何も残っていないこともあります。その日にどんな食材と出会えるのか帰宅時の楽しみになっています。割安で買った喜びと、食品ロスの削減に貢献しているような気がして(勝手の思い込みですが)、なんともいえない満足感があります。

■ なぜ、食料を寄付するのか? 【運用調査部／佐藤】

コロナ禍で困窮家庭が増えたから、食品ロス600万トンの削減に繋がるから。ただ、根っこは人を想う余裕をもてない自分への苛立ちと、缶詰一つから託せる想いの力を信じたいから。五輪マラソン覇者のキプチョゲは言い続ける。「限界突破には、一人の100%より、チームの力を1%発揮することが重要だ」9/18(土) さわかみファンド運用報告会ではご来場の皆さまから食料寄付を受付けます。一品から始める、より良い未来を一緒に。

■ 女の子の生態 【確定拠出年金部／利根川】

新しい生活が定着し、人々の消費動向が変わったという話を聞きます。私は圧倒的に自己消費に傾きました。月の自己投資代はネイルやジムなど約3万円。加えてスポットで通うサロンも含めたら更にかかります。人によっては壮大な無駄遣いかと思いますが、私にとってはこれがそれ以上のリターンをもたらしてくれます。自己満足ですがネイル一つで仕事の手元を見てご機嫌になったり、女の子という生き物をどうか許してください。

■ 祖母の心配 【直販部／三角】

コロナで2年ほど地元宮崎に帰省できていない間に、私は32歳に、祖母は88歳になろうとしています。お互い一人暮らしのため、毎週電話で生存確認を行い、話をする時間がとても大切です。そんな祖母のもつぱらの心配は私の将来と、増え続ける私の体重だそうです(笑)どんな状態でも私は幸せだ!と言い張ってきましたが、会えぬうちに小さくなる祖母を想うと、開き直るのもいい加減にしなければと思わざるをえない8月となりました。

■ 球児たちの熱い夏 【直販部／麥生田】

コロナ禍で開催を危ぶまれた今年の夏の甲子園に、私と同姓の選手が出場した。珍しい苗字なのでどこかで血縁があるのかもしれない。聞くと彼は幼い頃は一緒に練習する仲間が周りにおらず、キャッチボールの相手は祖母だったという。どのような環境でも自分の夢を実現できることを彼は証明してくれたのではないだろうか。私も彼に倣って世の中を豊かにしようと思う。ちなみに私は、高校時代バレーボール部だった。

さわかみ投信の

自立して堂々と生きていこう

さわかみ投信の伝統的なセミナーである「自立して堂々と生きていこう勉強会」。皆さまのご質問から開始する不思議な会を、この紙面に再現してみました。まさに全国で開催する弊社の自立勉強会そのもののカタチです。



30代女性

さわかみ投信はNISAより、つみたてNISAの方があっているのでしょうか？

現行の制度では両方とも良いとは言い難いです。2024年施行予定の新NISAも然り、皆さまの目線を“税”に向けすぎてしまうNISAは、私は失敗制度だと考えています。もちろん年齢が適応し、ブレない軸をお持ちの方にとっては有利な制度にもなり得ますが、投資環境が未成熟な日本において、投資への後押しが逆に大きなしつぺ返しを導くような気がします。企業と共に未来をつくり、社会という大きなリターンと財産という身近なリターンの両方を得られたなら、税金くらい払いましょう…と、矛盾するようですが、確定拠出年金(企業型DC)は財産形成において優れた制度で、NISAとは比較になりません。しかし残念ながら、未成熟な日本では、確定拠出年金すらうまく活用されていません。



澤上 龍

さわかみファンドは長期保有により効果を発揮するので、保有し続けるならばNISA制度を利用するのもいいかもしれません。しかし、その時ご注意いただきたいのが税制優遇の期間です。一般NISAの場合、5年間という年限があります。お客さまの中には、税制優遇を受けるために早いタイミングで利益確定してしまう方もいらっしゃいます。もし当初の目的が長期での財産形成ならば、税制に惑わされるのは本末転倒です。



村瀬

正直どちらも合っていないと思います。日本に投資を根付かせようと鳴り物入りで導入された制度ですが、検討段階からお金持ち優遇との批判や税金を取りたい省との綱引きの結果、複雑な割に得なのか損なのかも分からない制度となってしまいました。お電話でもお問い合わせの多い案件ですが、NISAで購入することにより逆に税金を多く支払う必要が出てくる可能性なども知らないお客さまや、有効期限切れの前に売却しなくてはならないと考えられるお客さまが非常に多いのが現状です。税の制度は数年ごとに大きく変更されますので、その税制度に振り回されいつ売却すれば得か損かなど考えるのではなく、長期に亘ってマイペースで投資されることをお勧めいたします。



田中 和則

つみたてNISAは運用中のコスト、運用できる資産に一定の制限・条件があるファンドが投資対象となっております。長期間運用する場合、その時々で運用できる資産に制約があると運用者にとって運用手腕を発揮する機会を奪う可能性がありますし、運用者が満足に運用できなければ、結果投資家にとっても満足の得られる果実が得られない可能性があります。NISAもつみたてNISAも期限の長短はあれど、いづれも投資に期限を意識させるものです。さわかみファンドは期限を意識せず、じっくり付き合っているんです。むしろ一生つきあってください。その良さを認めていただければ、長期投資を体現したさわかみファンドをお子さま、お孫さまへと引き継いでください。



岡澤

NISAは5年という制約があり長期投資には向かないと考えます。つみたてNISAでも20年の期限が長期投資にとって中途半端に思います。確定拠出型年金で十分に対応が可能な気がします。



泊



坂下

期限と年間の買付上限額がついているという点においては、どちらも変わらないと思います。つみたてNISAの非課税期間20年間は魅力的ではありますが、非課税の期限が、売りの判断基準になってしまうことに変わりはありません。さらに、20年経った時点で課税口座に移管する際に基準価額が下がっていた場合、デメリットが生じる可能性があります。例えば、つみたてNISAで合計40万円投資し、20年間運用した後の評価額が20万円になっていたとします。課税口座移管後に評価額が上昇し、資産額が40万円に戻ったため売却をした際には、20万円の利益が出ているとみなされ、その分は課税対象となります。20年後の市場予測などできないので、ギャンブルに近いですね。恒久的な制度ならまだしも、非課税期間が決まっているのではどちらもさわかみ投信、長期投資には合っていないと考えています。



50代男性

個別株(某機械株)を持っているが、この先に株価が上がりそうな情報があれば教えてください。



澤上龍

既知の情報はすでに株価に織り込み済みですよ。それよりも、もしその株を保有していない場合、新規で投資したいかどうかお考えください。投資は未来に対し行うものですので、改めてその株式に光のものを感じたならば保有し続けて良いのではないのでしょうか？ 逆に光を見出せなければ、他の光を探すべきでしょう。私たちは光、つまり情報を自らつくり出します。いくつもの仮説を立て、一つの推測に絞り込み、論理的に詰めていく。「自分が経営者だったらどうするか？」と客観視点を主観に変えることも重要です。そういった自らの情報は既知ではなく未知なるものです。必ず当たるとは言えませんが、繰り返すたび、そして時間を経るたびに精度を上げられます。それが投資にとって重要な再現性を生み出すのです。世間の情報に心揺さぶられるのではなく、自らの情報を信じているからこそ「長期で待てる」ことにも繋がりますし。



江藤

金融機関に入社して分かりましたが、インターネットが発達している現在は、証券会社も運用会社も把握できる情報は個人の方とそう変わらないように思います。また、簡単に得られる情報は既に株価に織り込み済みです。投資とは、情報自体よりも、情報からどのように自分で考えていくかが非常に大事なのだと思います。以前運用調査部がドイツの工作機械展示会へ視察に行った際に同行したことがあるのですが、やはりいくつかの仮説を持って頭で組み立てながら何度もブースを行ったり来たりしていました。お客さまが個別株を購入されたとき、おそらく何らかの期待を持って購入されたのだと思います。その期待は変わっていますか？ ご自身で期待が持てず、明るい見通しを他人に求めているのだとしたら、売却も検討されるのがよいかも知れません。



田中 和則

投資対象を調査する視点はプロだからって何か特別なことではなく、常に生活者目線です。この商品やサービスが素敵だな、生活に必要なな、と思うものについて、何故なのだろうか？ 技術力なのか？ ブランド力なのか？ 他ではマネできないのか？ 将来はどうか？ と徹底的に調査する。調査すればするほどまた新しい疑問が出てきてまた調査する。そのうち他の企業に行き着くこともあります。そして惚れぬいた企業を徹底的に応援する。この知的作業の楽しさをお客さまから奪っては申し訳ございませんので、是非ご自身でお調べ願います。

【ご留意事項】

リスク	さわかみファンドは、主に国内外の株式や債券など流動性のある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当ファンドの基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て当ファンドの投資者(受益者)の皆さまに帰属することとなります。また、元本および利息の保証はなく、預金保険の対象ではありません。したがって、投資者(受益者)の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その損失に耐えうる以上に当ファンドに対して投資することはご遠慮ください。投資信託は預貯金とは異なります。					
購入時手数料	ありません。	信託報酬	当ファンドの純資産総額に対して、1.10%(税込・年率)です。		信託財産留保額	ありません。
その他費用・手数料	当ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に対する消費税等相当額、先物取引・オプション取引等に要する費用、一部解約金の支払資金の手当を目的とした借入金の利息は、信託財産中から支弁します。※これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。			留意事項	投資に当たっては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をよくご覧いただき、ご自身で判断してください。「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「ご縁の窓口」(TEL:03-6706-4789)までお申込みください。	

■このレポートは、さわかみ投信株式会社が「さわかみファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。■当該投資信託の取得を希望される方は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申込みください。■このレポートは、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動等を保証するものではなく、将来予告なしに変更されることがあります。■さわかみグループ各社の提供するサービスや商品について言及する場合がありますが、その販売・勧誘を目的としたものではありません。